



六中だより

～ 自主・勤勉・共生～

令和8年 1月発行

1月号

港区立六本木中学校

本年もよろしくお願いします

校長 高松 政則

あけましておめでとうございます。年末年始は穏やかな天候に恵まれ、街には久しぶりに活気が戻ってきました。ニュース等で初詣や帰省で多くの人が行き交う様子を見て、少しずつ日常が戻ってきていることを実感した方も多いのではないのでしょうか。

皆さんはどのようなお正月を迎えられたでしょうか。日の出時刻は雲が多かったのですが、今年も元日は澄んだ空に太陽が力強く昇り、清々しい気持ちで新年を迎えることができました。(写真 横浜:ハンマーヘッド)



さて、令和8年(2026年)は「十干十二支」の考え方では「丙午(ひのえうま)」の年です。「丙」は太陽が勢いよく昇り、万物が明るく照らされる様子を表し、物事が形となって現れ、成長が目に見えて進む時期とされています。「午」は陽の気が最も強まる盛夏の象徴で、活力と前進の力を与えてくれるといわれています。この「丙午」は、これまで積み重ねてきた努力が一気に花開き、周囲を明るく照らすような成果につながる年とも言われています。

六本木中学校にとっても、生徒一人ひとりにとっても、前向きなエネルギーに満ちた一年になることを期待しています。昨年度より六本木中学校に着任し、生徒たちの素直さ、学びに向かう姿勢、そして学校全体に流れる温かい雰囲気により日々力をもらっています。地域に根ざした学校としての歴史と伝統を大切にしながら、これからの時代に求められる学びをどのように形づくっていくか、教職員とともに考え続けた一年でもありました。今年はその歩みをさらに確かなものにし、六本木中学校としての新たな伝統を築いていく一年にしたいと考えています。

元日の新聞広告の中から、心に残った言葉を一つ紹介します。

「未来は、今日の一步から。」(※元日の新聞広告より)

どんなに大きな夢も、どんなに遠く見える目標も、まずは小さな一步から始まります。この言葉は、特に3年生にとって大きな意味をもつのではないのでしょうか。いよいよ受験本番を迎える時期となり、これまでの努力が問われる時期です。入試は一日で結果が決まるように見えますが、実際には日々の積み重ねがその一日を支えています。焦る必要はありませんが、立ち止まらず、今日できることを一つずつ積み重ねていくことが大切です。最後まで自分を信じて取り組んでほしいと思います。

1・2年生にとっても、三学期は進級に向けて自分の学習や生活を振り返り、次のステップに備える重要な期間です。授業への向き合い方、家庭学習の習慣、友人との関わり方、学校生活での姿勢など、今の自分に必要な「一步」を見つけて実行してほしいと思います。小さな一步の積み重ねがやがて大きな成長につながります。

今日から三学期が始まりました。三学期は一年の中で最も短い学期ですが、学年のまとめと次年度への準備を同時に進める大切な時期です。3年生は進路実現に向けて最後の追い込みの時期となり、1・2年生は進級に向けて自分の学びと生活を整える時期となります。

本年も教職員一同、生徒たちの夢や希望の実現を図るとともに、本校の教育目標である「自主」「自立」「共生」の実現に向けて、教育活動に取り組んでまいります。

保護者・地域の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

『生き方を学ぶ講演会 ～夢の実現に向けて～』 東京ヤクルトスワローズ 石川 雅規 投手
 石川投手は、夢を叶えるために大切なこととして「自分で限界をつくらないこと」「周りの人への感謝」「小さなことでもいいから継続すること」など、多くの学びを語ってくださいました。
 講演後には、先生方や生徒とキャッチボールをしてくださったり、全学級を回って温かい言葉をかけてくださったりと、その人柄にも触れる貴重な時間となりました。まさに、一流選手は人格も一流であると実感しました。石川投手、本当にありがとうございました。



【生徒の感想】

- ① 「何事もチャレンジした方がいい」という言葉が胸に響きました。私は、挑戦することに抵抗がありました。でも、最近やってみたいことに挑戦できるようになってきたので、石川選手の言葉を心にとめて、学校生活をよりよく過ごしていきたいです。（1年生徒）
- ② 45歳になっても活躍し続け、「自分で限界をきめない」というお話を聞いて、もうこれ以上は無理だと決めつけるのではなく、石川選手のように生きたいと思いました。また、私は失敗をするとよく引きずってしまうのですが、石川選手の「反省はするけれど、引きずらない」という考えを取り入れようと思いました。（2年生徒）
- ③ 講演会に来ていただき、ありがとうございました。石川選手の話聞いて、感銘を受けました。特に「自分の中で限界をつくらず、チャレンジしていくことが大事」という言葉がとても印象に残っています。「生きる」というのは、目の前のハードルに集中し、それを越えていくことだと分かりました。（3年生徒）

さまざまな分野で生徒たちが力を発揮し、表彰されました！

- ★ 『MINATO リズムダンスフェスタ 2025 ファイナル』 金賞：ダンス部
- ★ 『11地区大会』 優勝：バスケットボール部（男子）
- ★ 『令和7年度 港区ジュニア育成事業 第15回 ジュニアバドミントン大会』 第3位
 → バドミントン部 女子ダブルス 1年 H.R & 1年 K.M
- ★ 『東京都中学校バドミントン冬季大会 港区予選 男子シングルス』 第3位
 → バドミントン部 1年 O.K （ブロック大会に出場）
- ★ 『令和7年度 中学校の「税についての作文」・「税の標語」』 入賞
 → 3年 I.K 3年 K.T 3年 A.A 3年 N.R 3年 S.R
- ★ 『港区読書感想文コンクール』 入賞
 → 1年 H.S 2年 K.K 3年 S.R

2月の主な行事

※詳細は毎月配布される行事予定でご確認ください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 5日（木）アスリート交流&講演会 | 12日（木）大使館交流【2年】 |
| 10日（火）ESAT-J（1・2年） | 20日（金）新入生保護者説明会 |
| 11日（水）建国記念の日 | 25日（水）～27日（金）学年末考査 |